

第九回

いわた俳句大会  
入賞作品集

主催  
いわた俳句大会実行委員会



## 大会選者

### 片山由美子 先生



千葉県出身。俳誌「香雨」主宰

1994年第8回俳人協会評論新人賞、2006年第21回俳人協会評論賞、2013年第52回俳人協会賞など受賞。

著書は、句集「飛英」、評論集「俳句を読むということ」など多数。

俳人協会副会長。毎日俳壇選者、龍太賞選考委員、日本文藝家協会理事など。

### 高柳克弘 先生



静岡県出身。俳誌「鷹」編集長

2008年第22回俳人協会評論新人賞、2010年第1回田中裕明賞など受賞。

著書は、句集「未踏」、評論集「究極の俳句」など多数。

中日俳壇選者。2月に評論集『隠された芭蕉』を刊行。

いわた俳句大会

入賞作品

# 一般の部



片山 由美子 選

特選

落葉踏む音のかそけき城址かな  
市野恵子

秀逸

夫も子も裸祭りの渦の中  
清水京子

よく見ゆるやうに迎火焚きにけり  
小林昭夫

入選

生きてゐるそれだけでよしをみなめし  
堀川千代子

先行きの読めぬドラマや栗を剥く  
植松智江子

十葉の白さ己の闇消して  
八久保エイ子

遠ざかる祭囃子を風に聞く  
近藤育夫

秋天へ諸手で放つ祝餅  
牧野圭子

遠山のひねもす煙る雁の頃  
兵藤恵

荒波へ走り汐ふみ浦祭  
橋本晶子

高柳 克弘 選

特選

メモ取りて巡る遺跡や鰯雲 村山裕子

秀逸

不発弾処理待つ黙や白泉忌 菱田淡海

水に色映して洗ふ夏野菜 植松智江子

入選

弓張月いざ堂入りの息づかい 鈴木登志子

葉の筋の著き瓢の実拾ひけり 小村絹子

名月や上り詰めたる気負ひなし 村松道夫

秋気破る太鼓の連打渡御だ渡御 青島美子

太古より水湧くところ秋祭 杉山晃美

懸菓はこぶ口に稗粟ゆらゆらと 沢田千代子

急かす子の髪を編み込む祭り笛 松本厚史

いわた俳句大会 入賞作品

小中学生の部



片山 由美子 選

特選

風鈴の音ただ一つ美術室 鈴木航太

秀逸

きりぎりすいないぞいないさがすんだ 加藤愛

玄関を開けた一瞬夏香る 牧田天音

入選

あとすこしゆびおりかぞえまつりまつ 神田悠希

かけつこで一いになりたいうんどうかい ナカンダカリユミ

赤とんぼまつかな空をおいかける 吉田恵理

彼岸花花火みたいに広がった 佐野心音

だんだんと夏の思い出消えていく 大庭柚季

風鈴が風にふかれて歌いだす 都築桜子

友達と夜店を回る夏祭り 高林茉那

高柳克弘 選

特選

ドンカツカ音したしゅんかん祭りだな

川原颯真

秀逸

つづいてくたいこの音が夜までも

濱松空翔

キンモクセイこれおまつりのにおいだね

森下花帆

入選

はしごしゃでうえまでのぼったそらたかい

宝田侑己

だいじょうぶ二日で覚えた宮ばやし

鈴木知世

友達とおでんたべてのひきまわし

鷹取巧

お祭りのひよつとこひよいひよいおどってる

中島颯馬

どうくつは不思議な石の夏休み

伊野波来愛羅

風鈴の音ただ一つ美術室

鈴木航太

紫陽花や雫の先に光あり

山西仁美



# 第九回いわた俳句大会

発行日 令和六年二月三日（土）

編集・発行 いわた俳句大会実行委員会

問い合わせ先 いわた俳句大会実行委員会事務局

（磐田市教育委員会事務局教育部教育総務課）

〒四三八一八六五〇

静岡県磐田市国府台三十一

TEL〇五三八一三七一四八二一

